

研究ノート

ロジコミ・メソッドの価値向上をめざして

——メソッド開発後の2年間の振り返り——

今堀 洋子

I. はじめに

2019年にアクティブ・ラーニングをめざす「主体的で、対話的な、深い学び」を実現するためのメソッドとして開発されたロジコミ・メソッド（以降ロジコミ）は、この間、成熟社会研究所のメンバーを中心に、その活用方法の模索や効果の測定が試みられてきた。

本研究ノートでは、2年にわたるロジコミに関わる取り組みを振り返りつつ、ロジコミの価値を更に上げるために、どんな方策が考えられるかを検討してみたいと思う。

II. ロジコミに関わる取り組み全体の振り返り

表1 ロジコミに関わる取り組み（20年度と21年度）

2020年度	春学期 (4月～7月)	成熟研メンバーによる授業におけるロジコミの活用およびアンケート実施
	7月	打ち合わせ
	8月	受講生のロジコミの活用頻度とアクティブ・ラーニング得意度の比較分析
	秋学期 (9月～1月)	成熟研メンバーによる授業におけるロジコミの活用
	10月	第1回 ロジコミサロン 講師：池田輝政先生
	2月～	ロジコミ学生モニター
2021年度	春学期 (4月～7月)	成熟研メンバーによる授業におけるロジコミの活用およびプロフィール（ビフォーアフター）とアンケート
	6月	研究会 入交享子先生
	7月	研究会 美馬のゆり先生
	秋学期 (9月～1月)	成熟研メンバーによる授業におけるロジコミの活用およびプロフィール（ビフォーアフター）とアンケート
	11月	【第1班】PBLシートとトリセツ完成
	2月	ロジコミの効果分析

表1に示す通り、ロジコミに関わる取り組みとして、①成熟社会研究所のメンバーが講義で活用しアンケート調査、②アンケート結果の分析、③ロジコミサロンや研究会、④ロジコミを活用するためのPBLシートの開発を行ってきた。更に、そのためのミーティングも重ねてきた。

教員はロジコミを講義でどう活用したのか、あるいは学生モニターはどんな場面で活用したのかに関して

は3章で、ロジコミのアンケート結果は4章で述べる。ここでは、それ以外に関して、具体的な内容のエッセンスをいくつか紹介する。

2-1. 2020年7月の打ち合わせ

ロジコミの次なる展開として、

- ・「ロジコミをこんな場面でこう使う」を出し合うワークショップの開催
- ・オンラインライブ授業でのロジコミの活用方法を検討
- ・先生たちの悩みを集めて解決していく
- ・今のメソッドには入っていないものを補強する：問題解決PBL、仮説を検証するプロセス→サンプルを作って説明するようなもの
- ・必要な力は、いわば新製品の開発。本質を見て考える力、常識を覆す
- ・会社で何年も使える生きた実力を付加
- ・ストーリー展開でヒントを提示
- ・利用者の評価をどうするのか。評価アンケート、インタビューで使ってみた感想を収集、モニター募集といった意見が出た。

2-2. 2020年8月の打ち合わせ

教員が授業で使いやすいものにするため冊子の改定をすることになり、論文やレポート作成のプロセスについても追加で作成することとなった。

2-3. 2020年10月 第1回ロジコミサロン

講師の池田輝政先生は、「一人で思う、二人で語る、みんなで考える」（岩波ジュニア新書、2020）の中で、ロジコミの活用場面を5つのストーリーで示した「5つのトリセツ・ストーリー」（2章）がとても印象に残ったと述べられた。

2-4. 2021年6月 研究会 入交享子先生

茨木高校で家庭科教員として教鞭をとられていた入

交享子先生は、早い段階からアクティブ・ラーニングを実践されていた。講演では、長い教員生活を経て、今生徒達に望むことは、地域や社会とつながって「暮らしの中の主人公」になってほしいということだと語られた。

2-5. 2021年7月 研究会 美馬のゆり先生

「アクティブ・ラーニングのその先へ」というタイトルで講演をしていただいた。はこだて未来大学で実施している、教員が2～3人でチームを組んで臨むプロジェクト科目では、教員の労力や負担が減り、新たな講義方法が浮かんだり、問題を共有できるなど、チーム・ティーチングが威力を発揮していると述べられた。

Ⅲ. ロジコミはどう活用されたのか？

教員は、そして、学生モニターは、ロジコミをどう活用したのだろうか？ここでは、教員と学生モニターに分けて整理してみる。

3-1. 教員はロジコミをどう活用したのか？

筆者は、2020年度の成熟社会研究所の紀要で「ロジコミ・メソッドの活用事例～2020年度の講義での実践を通じて～」として報告した。具体的な活用事例でもっとも手ごたえがあったのが、少人数クラスで実施した「トリセツ・リレーインタビュー」であった。ロジコミのメソッドを組み合わせてアレンジすることで、様々な活用方法の可能性があることがわかった¹。2021年度も、昨年度同様に授業で活用したが、今年度は、特にマンガラートを多用し、グループによる講演内容の要約等にも活用してみた。

佐藤友美子教授は、ロジコミの必要な箇所のPDFをレジメに添付する、あるいは参考にすべきページを提示するなどして、どの講義でも、常にロジコミを意識させるという方法をとった。

齊藤一誠教授は、ゼミ等で、ロジコミに関する自由記述のアンケートを実施し、学生達のロジコミに対する印象を引き出した。

3-2. 学生モニターはどう活用したのか？

ロジコミのメソッドを、色々な場面で使ってもらい感想を聞くことで、学生にとってより使いやすく役立つメソッドに改良していくことを目指し、学生モニターをつのり、12名の学生が参加してくれた。2021年2月1日に、オンライン説明会を開催し、学生モニターに期待することなどを説明した（図1参照）。

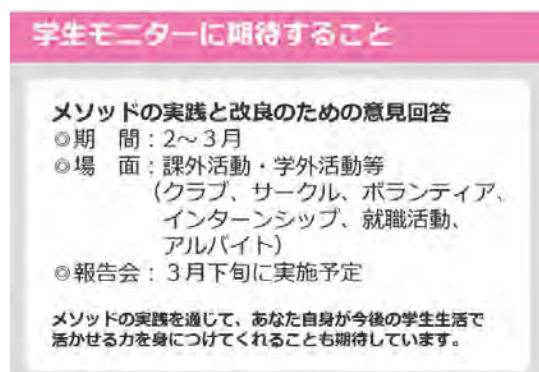


図1 学生モニターに期待すること

アンケートの項目は「使った場面や活動」、「何人で使ったのか」、「今回の活動で参考にしたページ」、「参考にしたページが役に立ったかどうか」、「参考にしたページで具体的にどのツールを利用したか」、「使用した感想」の6つとした。当初の予定していた期間中だけでは、あまりデータが集まらなかったため、期間を4月中旬まで延長してデータを収集し55個の回答を得た。

アンケート結果を見てみると、学生モニターは授業以外でも、プロジェクト、オープンキャンパス、バイト、学友会などでロジコミを活用していた（表2）。

表2 モニターがロジコミを使った場面や活動（講義以外）

使った場面や活動を教えてください（講義以外）
オープンキャンパススタッフの春プロジェクトでのグループワーク。SNS班として、SNSを活用し、できる活動を考えた。
オープンキャンパススタッフの春プロジェクト。グループワークで決めたこと、議論したこと、発表。
バイト先で新しいバイトの人と初めて会って、一緒に作業を進めていく場面。
和歌山県田辺市プロジェクト[br]（空き家問題について）
田辺活動のプロジェクトにて[br]
学友会追風運営委員会勧誘部隊
新しいバイト先での研修時
旅行の計画を立てる際に

次に、ロジコミを何人で利用したかに関しては、4人以上が一番多く40人で、ついで1人での利用が10人という結果となり（図2）、グループ活動の際に多く利用されていた。

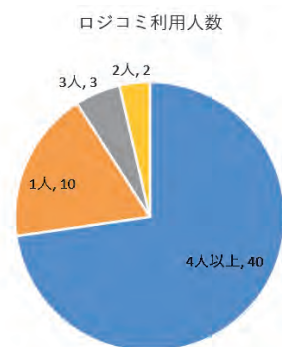


図2 ロジコミを使った際の利用人数

次に、ロジコミを活動や講義で利用する際、具体的にどのページを参考にしたかということに関しては、図3の通りとなった。全体的に見れば、どの頁ものべ10人以上が閲覧していることがわかる。その中でも、特に、第1章の「ひとりで思う」(のべ25人)、「みんなで考える」(のべ27人)、第3章の「プレゼンの基礎」(のべ23人)が多く閲覧されていた。



図3 活動や講義で参考にしたロジコミのページ（複数回答）

次に、参考にしたページの中で、具体的にどのツールを利用したかということに関しては、そのツールをどう使ったか、あるいはどう役にたったかの記述があるものを抜き出してみた（表3）。1年前に自分で作成したトリセツをバージョンアップして自分の変化を観察したり、トリセツで自分の強み弱みを発見したり、伝える工夫を意識しながら発表したというように、自らアレンジしつつ役立てている様子がわかった。

表3 ツールがどう役に立ったか/ツールをどう使ったか（抜粋）

参考にしたページの中で、具体的にどのツール、どの項目を使用したか教えてください。
「私の取扱説明書」という部分を使って、自分自身を分析してみました。これは、今週先生のゼミで、初めに同じゼミ生に自分を紹介する時に使ったものでしたが、それをこの1年で自分が変わったと思う部分を改良して、もう一度作り直してみました。
テクニック編にあった、ポイントを絞って話すこと、具体的に表現すること、聞く側の気持ちになること、を意識して発表しました。
グループワークをするうえで、まず一人で考え、そこから二人、皆でと人数を増やしていくというツールを使用しました。
世界を捨てるというテーマの2章が個人的にはためになったと思う。自分の物事の捉え方を見直した。
自分のトリセツを作ること、自分がどんな人間で、どんな強みや弱みを持っているのかが分る。
まずは、全員で思いつくアイデアを出していき、KJ法を使ってそれらのアイデアを分類した。
プレゼンや文の構成の仕方を使って書いていくことによって詳しく知ることが出来る。
アイスブレイクを行ったり、グラフィックレコーディングを意識したまとめ資料の作成
第2章の情報を眺めるのマインドマップは、自分の頭を整理する上で、役に立った。

最後に、活動や講義の場面毎にロジコミを使用した感想を抜粋したものを表4にまとめた。プロジェクトやオンラインミーティングなどグループで作業する際にロジコミのツールが役に立った様子を具体的に示しているものや、個人のワークでロジコミのツールの手順に従って行って上手くいったというもの、またパイト先でのコミュニケーションの取り方など様々な感想が寄せられた。

表4 場面毎にロジコミを使用した感想（抜粋）

今回使用した感想を教えてください。
今回ベアの相手と田辺市の空き家問題について二人で案を出していた時に、相手が案を出してくれるのですが、その取り組みが他の地域でも出来るから、独自性が無いと思っていた。しかし、そのまま聞き流すのではなく、なぜベアの子がそれを提案したのか、また、それを田辺市に押しオリジナルティを出すにはどうしたらいいかと自分が相手の話に関心を持ったことで、最終的にはお互いに納得のいく提案が浮かんだ。相手の提案に対し違うと決めつけるのではなく、自分が働きかけることでベアワークが上手く進行することが分かり、相手に対する関心は大事だと感じた。ベアの相手も自分が関心をもったことで、自分が提案を出した時には、関心を持って聞いてくれたので、相手に興味をもたれると話しやすい環境になることが分かった。
オンラインでのミーティングだったため、実際にふせんを使って、みんなでやることはできなかった。しかし、出したアイデアを書記としてまとめる際に、KJ法を使えば上手くまとめることができ、たくさん出した案を再度グループで共有、振り返る際にもスムーズに伝えることができた。また、グループ分け後のアイデア一覧を画面共有で見てもらったが、見やすいと言う意見もあり、それらをまとめたり、さらに深めたりする際にも円滑に進めることができた。[br]私は今回、ワードを用いて出てきた案をひたすら書き出し、それを見ながら別のワード開きグループ分けしていった。オンラインでのミーティングが増える今、違い場所にいる人とも、付箋や紙を用いないでできるもっといいやり方があれば教えていただきたいと感じた。
まず、発表する前に伝えるべきことを絞ってから発表に挑んだ。初めて内容を聞くのだから、順序立てて、話が飛ばないように意識しながら話した。しかし、いざ発表の場になると頭では分かっていても、行動や発言に反映させるのは難しかった。今回は原稿がなかったため事前に内容を客観視することはできず、話しながら考えるのは難しかった。また、自分では出来ていたのかわからないという不安もあるので、時間ができたときに動画を見直し反省点など確認おきたいと思う。練習や経験もちろんあると思うが、今回のように原稿を作る時間がなく、原稿のない発表のときにも役立つコツや意識することがあれば知りたいと感じた。
田辺市に対して動画制作を行う際に、2本の動画を作るようになったのだが、それぞれの動画にテーマを決めることになり、一人の人が提案した意見に対し、自分以外の人は賛同したが、思うようにテーマが決まらず困っていたときに、自分が違った角度から意見を述べたことで先生も共感をしてくれ、最終的に自分の意見がテーマとなり、話し合いがスムーズになった。[br]皆悩んでいたときに沈黙になって考えていたが、考えても出ない時もあると思うので、そういったときはスウィッチャーとして、違った角度からの意見は必要だと感じた。
メールの書き方事例を参考にしながらメール作成をした。普段はメールよりもLINEを使うことが多いので、メールの書き方にあまり自信がありませんでしたが、事例を参考にしたことで、メール作成する際に何が重要で何を書かなければならないのかを知ることができました。また、CcやBccの意味も知ることができたので良かったです。[br]今後、大学の先生や企業先に連絡する際にメールを使用することが多くなると思うので、このツールをもっと活用していきたいと思います。
今まで自分のトリセツを書いたことがなかったので、最初は書き始めるのに時間がかかってしまいましたが、体験！トライアルシートを参考にすることで書きやすくなりました。[br]今回のトリセツはざっくりとしか書くことができなかったのも、もっと自分のことを分析していかなければならないと気づくことができました。
まだ、グループワークなどは授業がない期間なので、できないですが、まずは、自分自身についてもう一度振り返るという面でも役に立ちました。この取扱説明書は、自分のことを相手に知ってもらうための物なので、これくらいの分量と、後は、口で補足する程度でいいと感じたので、これで良いと思いました。
新しいパイト先で2歳年下の同じタイミングで入った大学生とコミュニケーションを取る時に、その子は入学式を控えていて、不安そうであった。そのため、大学の入学式を経験している自分が、自分の話ばかりにならないように会話を投げたおかげで、会話が生まれコミュニケーションを取ることが出来た。
他の動話準備であまり後輩を見てあげられなかったが、思っていることを誰にも言っていない、言える状況ではないと他の人から聞き、相手が動話についてどう考えているのか、今後どうしたいのかについて聞く機会になり、動話部隊の気持ちの沈みを戻すことが出来た。
友人同士で奈良県のある村の一軒家に泊まる企画に参加し、その予定を決める際にサクサク進められると思い使用しました。[br]実際に使う際には思った通りに行かないことが多かったですが、かなり早く、かつ正確に情報をまとめることができました。
今回この本を読むことで、相手の気持ちを考え、しっかりと意見など聞いてあげることがまず良いのだと思ったので実行してみると、よりスムーズな会話ができ、さらに仲を深めることができたので、よかったです。
大学生になってからプレゼン内容を考えたり、考えた内容を形にしなければならなかったり、1人でやらなければならないことが沢山あって大変だったのでパイトになると思う。
マトリクス表を使うという知識が私にはなかったのなるほどと思いました。自分の整理にも活用できるのでこれから使っていこうと思いました。
とても分かりやすく、参考にしやすいかった。[br]パワーポイントを作る際、ビジュアル・デザインで見やすいものを作ることができた。
具体例やイラストがあり非常に読みやすかったです。強いて言うならば、各章の最後にまとめがあればなお良くなるかと思いました。
何もなければどうすればいいかわからなかったと思うけど、手順や実際に使えるグラフなどが書かれていたので、困らなかった。
感覚的にできていることもあれば、できていない事もあったので、自分に合いそうであれば、取り入れていこうと考えている。
自分のことを考え、そこから他人に伝えることにつなげていくのが、ある意味、シンプルではあるが、新鮮に思えた。
分かりやすく情報が多かったので良かったと思う。今後のグループワーク活動や、発表で活かせると思う。
ブレーション・ミーティングやKJ法を使って、情報の再確認や自分たちで新たな情報を収集出来たこと。
今までよく理解できていなかったことが簡単にイラストなどで説明されていて理解しやすかった。
全体的に情報がまとめられていたり、色分けもシンプルで、要点がすぐにつかめると感じた。
使用する前と後では、話し合いの進み方が全然違っていった。

春学期は佐藤友美子教授担当の地域コミュニティ論、コミュニティ論、社会人の基礎 A と、筆者担当の入門ゼミ 1、基礎ゼミ 1、展開ゼミ 1、非営利組織論の合計 7 つの講義でアンケートを実施した。

図 5 と図 6 に、コミュニティ論のロジコミに関するアンケート結果を示す。コミュニティ論に限らず、ロジコミを使わなかった理由としては、使い方がわからなかったと回答する人が多く、授業以外でも使える、社会人になってからも使えると回答する人も多かった。よく使った項目は 1 章のメソッドが多かった。

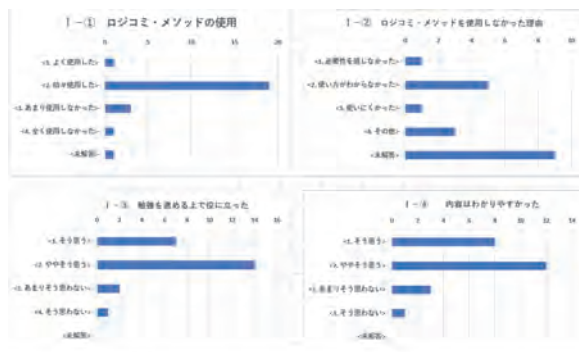


図 5 コミュニティ論のロジコミアンケート結果①

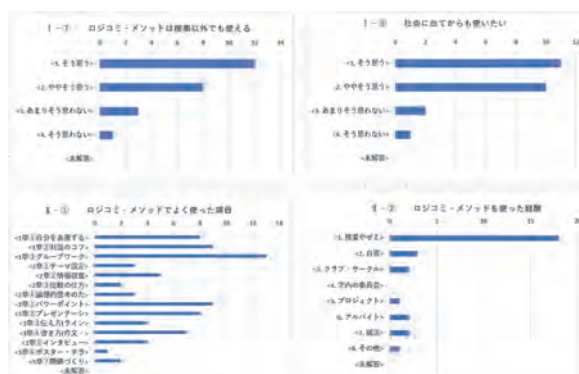


図 6 コミュニティ論のロジコミアンケート結果②

次に図 7 に、地域コミュニティ論 A の学生プロフィールの変化とロジコミ利用頻度の関係について示した。初回と最終回を比較すると、全体的に習熟度 (表 6 参照) は高まっているものの、ロジコミ利用頻度との関係性は見られなかった。他の講義でも同様な傾向であった。

	プロフィール																						ロジコミ メソッド利用
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	
20J2	0	-1	0	0	-1	0	0	0	-1	-1	-2	0	0	-1	1	0	-1	-1	-1	0	0	1	
21J0	-2	0	0	0	0	-1	-1	-1	0	-1	0	1	-1	-2	-2	-1	0	0	0	0	0	1	
20J0	1	-1	-1	-1	2	1	2	0	0	0	1	1	0	-1	-1	0	0	0	1	-3	3	2	
20J1	0	1	0	0	0	-1	0	-2	0	-2	-1	-2	-2	-3	0	2	-1	1	0	2	0	2	
20J1	-1	0	1	0	-1	0	0	1	1	0	1	1	0	1	-2	1	1	0	1	0	0	2	
20J1	-2	-2	-1	0	-1	0	0	0	-1	-1	1	-2	-1	-2	-1	0	-1	0	0	-2	-1	-1	
20J1	-1	-1	0	0	0	-1	-1	-1	0	1	1	2	1	0	1	-1	-1	1	-1	-1	0	-1	
20J2	0	1	-1	-1	-2	-2	0	-1	-1	0	-1	1	0	-2	-3	-1	0	2	0	-2	1	1	
20J2	0	-2	-1	-2	-3	0	-1	-2	-1	-1	-2	0	0	-1	-2	-2	-2	-1	-2	0	0	2	
20J2	0	0	0	0	-1	1	1	0	0	-1	1	0	-2	1	1	2	1	0	0	0	-1	0	
20J2	-1	0	0	0	0	0	-1	1	0	-1	-1	0	-2	0	1	0	0	0	0	1	1	0	
20J2	-1	-1	0	-2	0	-2	-1	-1	-1	0	0	-1	-1	-1	0	0	0	0	1	0	-1	2	
21J0	0	0	0	0	-1	0	0	0	-1	-1	0	-1	0	-2	0	1	1	0	0	0	1	0	
21J1	0	-1	-1	0	0	-1	-1	0	-1	-1	0	-1	0	-1	-2	-1	-1	0	0	1	0	2	
21J1	0	0	2	0	0	0	0	-1	-1	0	-1	-1	0	-2	-2	0	1	-1	0	0	0	2	
21J2	0	0	0	0	0	1	0	-1	-2	0	-2	-2	0	0	-2	-2	-1	0	0	-2	1	0	
21J2	-2	-1	0	1	0	0	0	0	-1	2	1	1	0	1	1	1	0	0	3	-2	0	0	
21J2	-1	0	1	2	0	-1	-1	-1	0	-1	0	0	-1	0	1	0	0	0	-1	1	1	2	
21J2	0	0	-1	0	2	0	1	0	0	-2	0	0	0	-2	0	1	-1	-1	1	1	-1	2	
20J0	-1	-2	-1	0	1	-1	0	-1	0	-1	-1	-1	-1	-2	-1	-1	0	0	-1	-2	-1	4	
20J1	-1	-2	-1	0	0	-1	0	-2	1	-3	0	0	-1	0	-3	-3	-1	0	-1	-1	-2	0	
20J2	-1	0	1	0	0	1	1	-1	-1	1	0	0	1	1	0	-1	-1	0	0	0	0	4	
20J2	0	0	-1	0	0	0	0	-1	0	-1	0	0	0	-2	-1	1	0	1	-1	-2	0	4	
21J0	0	0	0	0	1	0	1	-1	-1	0	1	0	1	1	0	0	0	0	1	1	1	4	

図 7 地域コミュニティ論 A のプロフィールの

変化とロジコミ利用頻度の関係

秋学期は佐藤友美子教授担当の社会人基礎 B、生活文化論、地域コミュニティ論の 3 つの講義でアンケートを実施した。

図 8 と図 9 に社会人基礎 B のロジコミに関するアンケート結果を示す。春学期の結果と比較して、社会人基礎 b に限らず、よく使った項目が 3 章のメソッドが多くなっていった。また、社会人基礎 B に限っては、ロジコミを就活に活用したという回答が確認された。

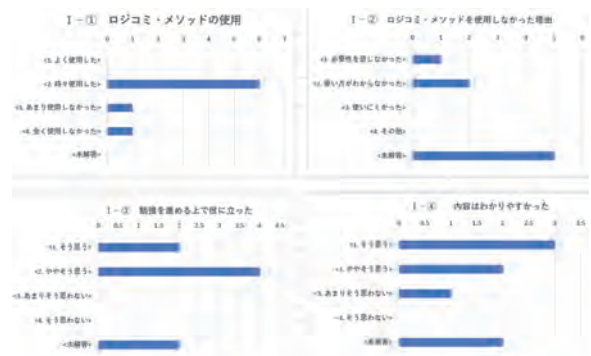


図 8 社会人基礎 B のロジコミアンケート結果①



図 9 社会人基礎 B のロジコミアンケート結果②

次に図10に地域コミュニティ論Bの学生プロフィールの変化とロジコミ利用頻度の関係について示した。この講義においては、ロジコミをよく利用した学生の方が、習熟度(表6参照)が上がったと回答している傾向となった。

	プロフィール																						ロジ ミ ソ ッ ド
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	
21JJ0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-1	0	0	0	-1	0	-1	-1	-1	0	-1	1	0	1
20JJ0	1	-1	-3	-2	0	0	0	1	1	-1	1	3	1	-1	1	-1	0	-1	1	-1	3	2	2
20JJ0	0	-2	0	0	0	-1	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	-1	0	0	-2	-1	-2	2
20JJ1	-1	0	0	-1	-1	-1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
21JJ0	0	1	1	0	2	0	0	0	-1	0	-2	1	-2	-1	0	0	0	-1	0	3	2	1	2
21JJ0	-1	0	0	0	-2	-1	0	-1	-1	-1	0	-1	0	-2	0	-2	0	-2	-2	0	-1	-1	-1
21JJ0	-1	-1	1	0	1	-1	-1	0	0	0	0	-2	-1	-2	0	0	0	0	-1	1	-2	-2	2
21JJ0	-1	-2	0	-1	-1	0	1	0	1	1	-1	0	-3	0	-2	0	0	-1	0	0	-1	0	2
21JJ1	-2	-1	-1	0	1	0	0	0	0	0	-1	-1	-1	-1	-1	0	-1	-1	-1	-1	-1	0	2
21JJ1	0	-2	0	0	-1	-1	0	0	0	-1	0	-1	0	0	0	0	-1	-2	-1	-1	0	0	2
21JJ1	0	-1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-1	-1	0	0	0	0	0	0	0	0	2
21JJ1	0	0	0	-1	-3	-2	-1	-2	-1	0	-2	-1	1	0	0	-1	-1	0	0	2	0	-1	2
21JJ1	-1	-2	0	-1	0	0	0	-1	0	0	-2	-1	-1	0	1	-2	-1	-1	-3	-1	2	0	2
21JJ1	0	0	0	0	2	1	0	-1	-1	-1	0	0	-1	-1	0	-1	-1	-2	0	1	1	1	2
21JJ1	0	-1	1	1	1	0	0	2	0	0	-1	0	0	1	1	0	0	-1	-2	1	0	0	2
21JJ1	-2	0	0	-1	-1	-1	0	-1	-1	0	-3	0	0	-1	-1	-1	0	0	0	1	-1	-1	2
21JJ2	0	0	0	0	0	0	0	0	-1	2	0	0	0	2	1	0	1	0	-1	1	0	-1	2
21JJ2	0	0	-1	0	0	0	-1	0	-1	-1	-1	-1	-1	0	-1	0	-1	-1	-1	0	0	-1	2
21JJ2	0	-1	0	0	0	1	0	-1	-1	0	0	0	-1	1	0	-1	0	-1	0	0	1	0	2
20JJ2	0	-2	0	1	1	#	1	0	2	3	1	2	1	1	-2	0	-1	-2	-1	-2	-1	1	3
21JJ0	1	0	0	1	0	-1	0	-1	1	1	-2	-1	-1	-2	0	0	0	-1	0	0	1	1	3
21JJ0	-1	1	-1	1	-3	-1	-1	-1	0	-1	1	0	0	-2	-1	-1	0	-1	1	0	0	0	3
21JJ1	-1	-1	1	0	1	0	0	0	0	2	0	2	-1	1	0	0	2	-1	-1	0	3	2	3
21JJ1	0	-1	0	0	1	-1	1	0	0	0	-1	-1	-1	1	0	0	0	0	0	-1	0	-1	3
21JJ1	-1	1	0	1	0	0	0	0	-1	-1	0	0	-1	0	0	-1	0	1	0	0	0	0	3
21JJ2	0	0	-1	-1	-2	0	1	-1	0	0	-1	-1	0	0	0	0	-1	-1	-1	1	1	0	3
21JJ2	-1	-1	-1	0	0	0	0	1	-1	0	-1	1	1	1	-1	0	0	-1	-1	0	-1	1	3
21JJ2	0	0	0	0	-1	0	0	1	1	0	0	0	0	1	0	0	0	-1	1	0	1	1	3
21JJ2	3	-2	0	0	-1	2	2	0	0	-1	0	0	1	0	-1	-2	-1	-2	0	0	1	0	3
21JJ2	0	0	-1	0	1	-1	-1	-1	1	0	0	0	0	0	0	0	-1	1	-1	0	1	-2	3
20JJ2	0	0	0	0	-1	1	0	0	-1	-1	-1	0	-1	-2	-1	0	0	-1	0	2	0	0	4
21JJ0	-1	2	0	0	0	0	0	-1	0	0	0	0	-2	0	0	0	0	0	0	-1	-1	0	

図10 地域コミュニティ論Bのプロフィールの変化と
ロジコミ利用頻度の関係

ここからは、アンケートの3つの自由記述(表5参照)の結果について述べる。まず、授業以外でのロジコミの使用のきっかけ・使用方法・結果に関して、表7に抜粋した。就活での活用というのが多く見受けられた。その他にも、教育実習、先生にメールを送る時、資格講座、卒論や研究計画でも使ったという意見もあった。

表7 ロジコミの授業以外での使用やその結果

授業以外で使った経験がある人は、きっかけや使った内容、結果について書いてください
ロジコミ・メソッドのモニターとして利用しようと考えたが、途中で授業がオンラインに変更されてしまったため、グループワークのことはあまりできなかった。よって、自習で個人で改めてトリセツを考えて作ってみた。その時に使用した。
結果としては、一年のゼミで作った時とあまり内容は変わらなかったが、二回目ということもあって、項目ごとにあまり悩まず素直に書けたと感じる。一度使っただけで終わらず、何度も使用することで慣れてきてより上手に利用できると思った。
就活で役立ちました。授業が始まってから丁度就活を初めて、遅いと就活キャリアの方々に言われてとても焦りました。徐々に説明会や面接に参加していく中でまだまだだなということが沢山ありとても社会は厳しいなど実感しました。まだまだ不慣れで面接に行ってもとても緊張してしまい中々慣れません。ですが、授業中に聞いていたことが就職活動をしている中で履歴書を書く時に役立ったりしているのが良かったです。
私は書きたい事が沸き上がってくるタイプなのでコラムなどを書くときよく「スペース的にもうちょっと文字数を減らしてほしい」と言われるのですが、こちらの文章の書き方や要点のとらえ方を見てから少し文の推敲やブラッシュアップが上手くなったように感じます。これからも参考にさせていただきます。
他の授業での課題で発表があるときにそういうののコツとかをこれを読んでどう伝えようかと悩んでいました。
発表したときは緊張しすぎてあまり活用できなかったのですがその授業の先生はうまく発表できていたよといってもらったのでよかったです。
教育実習時に使わせていただいていたようにすれば中学生に分かりやすく簡単に伝える方法にまず使って活用させていただきました。特にイメージを持ってもらうためのテーマや視覚教材の選び方からについて助けていただきました。
私は飲食店でアルバイトをしています。接客業なので、コミュニティの場が多いです。そんな時、「ロジコミ・メソッド」は役に立つことが多かったです。これからも活用して様々なことに活かしていきたいと感じました。
参加しているインターンで企画を実行するときにグループワークで使用した。内容は新しい集客案を考えることだった。さまざまな思考整理法や伝え方の知識によって、とても良い企画書を完成させることができた。
就活の時に企業に送るメールをどのように書くか分からなかったから、使用した。
結果はすぐ分かりやすく、丁寧な言葉使いで文章を書くことができ、相手側にいい印象を与えることができたと思う。
まずは、授業で使うことが多かったのですが、自主的に対話の仕方やパワーポイントの作成の仕方、話のまとめ方を知りたいと思い使用するようになり、グループワークでは大変役立ちました。
パワーポイントを作る際に、相手に伝えやすいパワーポイントをつくりたいと思い利用しました。結果的にはうまくいった場合もあれば、もう少し文章が多い方がいいなどの課題もできました。
プロジェクトで空き家の問題を解決するために、皆で意見を出し合ったが中々案が出なかったが、ロジコミメソッドを活用してとりあえず案を沢山だし、そこから結び付けた。
就職活動やパワーポイントを作る時に、実際に例とかあったほうが、分かりやすかったです。今後使っていく可能性が高いので、これからは是非使わせてもらいます。
グループワークに対して苦手意識があったため、自分の意見を主張するときに、どのようにグループワークに参加していけばいいのか分からなかったときに使用した。
資格講座で班に分かれて活動する際や、はじめましての人と話すときに、対話のコツをよく活用しました。
結果、お互いよく話せるようになりました。
パワーポイントの使用しているときに、使用した。使用した結果、変わったかどうかは分からないが、どのように書けばよいイメージはできた。
ゼミの発表のときに使えることがないか使いました。発表の仕方は詳しくは書いてなかったが、伝え方が書いていたので参考にした。
大学内でのインターンシップで使用した。今まで話すことがなかったような人と話すことができ、いい経験ができた。
就職活動の際の文章の書き方や話し方などの参考にしました。就職活動においてかなり役立他と感じました。
先生にメールを送るときに構文が載っているとおっしゃっていたので参考にしました。
学校が始まって最初の頃に家でグループワークでどのようにしたらいいか使いました。
就活する上でのマナーを調べるために使用し、多少は身に付いたと自分では思う。
就職活動の際言葉遣いやマナーなどを学びました。
効果があったと思います
就活の軸を決めるために、路地込みメソッドを用いて勉強しました。
パワーポイントを作る際に、ロジコミメソッドを参考にした。
卒論や研究計画書、バイトでも理論を取り入れてみました。
就職活動でまよっていることがあって、参考にした。

次に、ロジコミを使用しての感想の抜粋を表8に示す。講義の内容によって、参考にした箇所も異なるが、グループワークに有効であった、プレゼンの能力があがった、アイデア出しの方法が知れて良かった、(就活の面接で)自分の伝えたいことを伝えることができるようになった、もっと色々使ってみたいなどの積極的な意見が多数寄せられた。

表 8 ロジコミを使っでの感想

ロジコミ・メソッドを使った感想を教えてください（自由記述）
まず、ロジコミ・メソッドが配られて思ったことはこの薄さはかなり読みやすくて持ち運びしやすいと感じました。そして冊子をひらくととても綺麗にまとまっており、イラストなどもたくさんあって非常に分かりやすくこれなら普段本を全然読まない自分でも読めたので良かった。そして読み進めていると、社会に出て使う必用なスキルのことや役に立つことがたくさん書いてあってとても参考になったし実際に使ってみたいとも感じた。
グループワークの中で自分がどのような役割を担っているのかや担えばいいのかが分からなかったが、ロジコミ・メソッドを使用して自分に合った役割を発見できることができた。役割があると無いのでは、グループワークに対しての貢献度や話した内容の具体性にまで違いが出てくることが分かった。今後もロジコミ・メソッドを使用して有意義なグループワークを行ってきたい。
ロジコミ・メソッドを使用するまではプレゼンテーションのポイントがあることなど知らず。ただ適当に発表を行うことで満足して終わることが普通でした。しかし、ロジコミ・メソッドを用いた事でそれまでの中身だけの発表を自分の言葉にして伝えることが出来るようになり相手に伝わりやすいように気を付けながら発表ができるようになりました。
「ブレインストーミングをKJ法ってよく聞くけど面倒くさそうだし意味あるのかな」と勝手に敬遠していたのですが、いざそれで研究計画書のアイデアやテーマを絞り出してみたら抽象的だった所や頭のもやもやがすっきりしてとてもいい案が浮かびました。ありがとうございました。
アイデアだしはその時自分が思いついたことで行っていたので、熟考したうえでアイデアをだす方法がしれてよかった。今までグループワークはいろんな意見をだしてどれを選ぶみたいな感じだったが、KJ法などを使うと全員の要素を取り入れることができると思う。
良く習いますがいまいちできないというのが多かったり、どうすればいいかわからないこととがあるので手元にある読むことが出来るというのはいいなと思いました。スマホとかで読むより紙媒体の方が個人的には読みやすいなと思いました。
就活や面接で聞かれたことを頭の中では説明できるが、言葉に表すことが難しく順番が分からず、終始言っていることがちがう事が多々あった。だがどのように考え伝えることで自分の伝えたい事を伝えることができたので役に立った。
挿絵があるので文章だけでわかりづらいところもわかりやすくなっていると思いました。また、記載されていることを念頭におきながら実際にやってみることで、グループワークもやりやすかったように感じます。
ロジコミ・メソッドのおかげで、社会人のマナーなどが学べて良かったと思う。文章だけでなく、イラストも載っていて、分かりやすいしやる気も上がったと思う。これから社会に出ても、活用しようと思う。
今、私たちが生きる上で欠かせないことが詰まっているなと感じました。地域コミュニティ論を履修しなかったらこの「ロジコミ・メソッド」にも出会えていなかったため、良かったなと思いました。
現在の就職活動や将来会社で仕事をするとき、すぐ役に立つのだと思います。いろいろな方法などを教えてもらいました。どうすればきかなどの具体的な内容は、よくわかりやすかったです。
私は物事の中心に立つて進めることが苦手なので、みんなの意見を参考にし、さらに発展させるような発言をするのも重要だと書いてあったので、参考にしながら使ってみたところ、うまくいった。
先ほど目述べたが、一度使っただけではなかなか上手に利用することが出来ず、感覚がつかめないとおもうことから、一度と言わず何度も同じものを利用していくことが必要だと感じた。
自分がより伸ばしたいと思う内容があったので参考にしました。内容がすぐく入ってきやすいもので実践しやすいからです。これからも使える場面では生かしていきたいと思います。
人とのつながりが大切だと感じたのと、話したことがない人でも話せるようになったため今後もつかっていききたいと感じた。この授業で活かした経験を今後の授業でも活かしたい。
絵などで分かりやすく説明されており、読めば読むほど新しい知識を得ることができ、自分の苦手なことも克服することができるとヒントを与えてもらい使ったよかったと感じた。
ロジコミメソッドでは最初のプレゼンでの発表の時やグループワークでは仲良い人ばかりがいいのかそれとも知らない人ばかりがいいのかなど興味深いことが沢山ありました。
まだまだ読めていないところが大半ですが、プレゼンを作成する上での順序や大切なことが書かれているので、これから、社会人になってからも活用できるものだと思います。
ロジコミメソッドには、交友関係を深めたりする力があるのではないかと思います。知らなかった人とはなすことができたりしたので色々な経験ができたと思います。

最後に、ロジコミの改善点に関して表9に示す。複数挙げられた意見として、ロジコミを使う目的を明確に示した方がよい、メールの書き方のシチュエーションを増やしてほしい、冊子のサイズをA4にしてほしいなどが挙げた。また、自分だけでなく、一緒にグループワークなどをする人達もロジコミに習熟していないとやりづらいといった意見もあった。

表 9 ロジコミの改善点

ロジコミ・メソッドの使いにくい点や、改善が必要な点があれば教えてください（自由記述）。
授業で使ってみた感覚として、初見で行うときには、はじめて使うものであるから勝手が分からない人も多かった。よって、初めて使うときには詳しく説明して、こういう効果があるから行う作業だということを伝えていかなければ、何のためにロジコミ・メソッドを使わなければならないかが理解されないと思う。
ロジコミ・メソッドの使いにくい点としては、最初は言葉で書いてある通りにできるとは思えないので実際に取り組んでみるのが求められると思います。
アクティブラーニングの体系を取り入れるべき目的や意義をより前面にアピールしたデザインにすれば、興味や意識に変化があったような気がした。
イラストなどもたくさん使われて簡単に書いてくれているところも多かったので改善点が必要な場所は特にあるように思いませんでした。
あまりページ数が多くないので、そこまで不便ではなかったが、目次は前の方にあってほしかった。
アプリにすることでいつでも使うことが可能になるのでアプリにしたら使うことが多いと思います。
少し内容が難しかった部分があり、すぐには自分からすることができなかった部分があった。
メールの書き方のシチュエーションをバリエーションを増やしていただければ助かります。
もっと文章あった方がおもしろいけど、きっと自分が文字読む人だからだろうなと思う。
非常に分かりやすい言葉で書かれていたので、使いにくい点は見当たりませんでした。
メールの書き方のシチュエーションをより具体的に示して下さればより助かります。
まわりの人もロジコミ・メソッドを読んでいると、役割があいまいになるところ。
あれ以上、どのように改善してと言われてもあれ以上はならないと思います。
とくにないですが字が小さいので目の悪い方は見にくいのかなと思いました
絵が多く、文章の場所がバラバラなため、私にとっては読みにくかった。
興味関心を集めづらい→中を見てみたいと思えるようなものに
本になっていたの、使いにくかったし、使わなかった。
冊子が開きにくかった。A4サイズなら使いやすかった。
どこでどのように活用すればいいのかわからなかった。
インパクトに欠けているのではないかと思います
もっと身近なものにしたいと思いました。
授業でもう少し使ってもいいのではないかと。
一番最初のページに目次があれば良いと思う
深いところまで書かれているとなお良かった
その場で本を開くわけにはいかないですね。
もう少しサイズを大きくしてほしい。
冊子を読むのが面倒になってしまう。
発表の仕方を詳しく書いてほしい
そもそも話をするのが苦手です。
色が多すぎる気がしました。
文字が小さいと感じた
字が多いのが苦手

V. ロジコミの価値を更に上げるための方策

学生モニター、そして講義におけるアンケート結果からも、ロジコミは様々な場面で活用できるし、アクティブ・ラーニングを円滑に進める上でもロジコミは役に立つということが明らかになった。

今後、更にロジコミの価値を上げていくために、どうしたら良いのだろうか。いくつか具体的な方策を示しておく。

5-1. ロジコミをより多くの人に使ってもらう

この2年間は、成熟社会研究所のメンバー中心に、ロジコミを活用してきた。今後は、ロジコミを学内外問わずオープンにして、多くの教員に使ってもらうことが大事である。教員はロジコミをアレンジして講義で活用すると思われるので、各自の工夫を集めてみるのも面白いのではないだろうか。

5-2. 教員向けのロジコミのトリセツ・ストーリーを作成する

第1回ロジコミサロンで、池田先生から好評であった「5つのトリセツ・ストーリー」(2章参照)は、学生向けのものだった。多くの教員に使ってもらうためにも、教員向けのトリセツ・ストーリーをいくつか作ってみるのも良いと思われる。

5-3. PBLシートとロジコミで相乗効果を生み出す

何度かのミーティングを重ね、2021年の11月に第一版が完成したPBLシートは、筆者もゼミ等で活用を試みたが、まだ使いこなせていない状況である。このPBLシートは、そのプロセスの過程で、ロジコミを活用しながら進めるという作りになっている。図11と図12に、中川啓子氏が「PBLの歩き方」というタイトルでPBLシートのトリセツを作成したものを示す。卒業研究やいわゆるプロジェクトだけでなく、グループワーク等でも、このPBLシートを活用しつつ、ロジコミのメソッドにも習熟していければ相乗効果を生み出せるであろう。

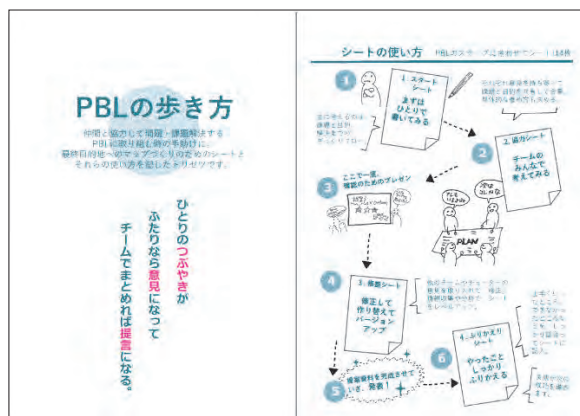


図11 PBLの歩き方 表紙と3ページ

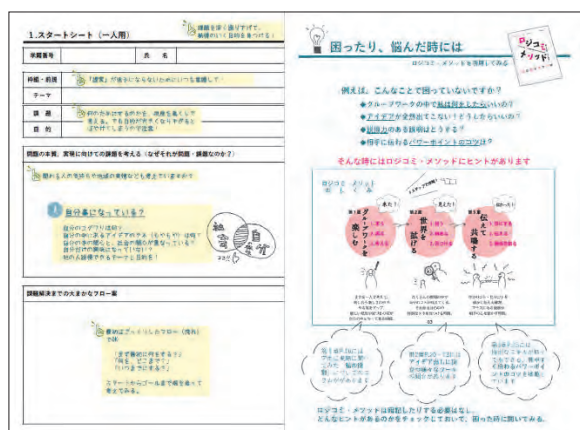


図12 PBLの歩き方 4ページと5ページ

5-4. 定期的なロジコミサロンの開催

当初は、教育サロンⁱⁱにヒントを得て、ロジコミサロンを定期的で開催する予定であった。そのサロンでは、ロジコミ・メソッドを紹介しつつ、アクティブ・ラーニングを実践するにあたり、どんな悩みがあるのかを意見交換しつつ、アクティブ・ラーニングの実践例を学び、ロジコミ・メソッドの活用方法についても意見を出し合う場とすることが狙いであったⁱⁱⁱ。

残念ながら21年度は開催できなかったが今後も定期的に開いていきたい。そうすれば、ロジコミをオープンにして多くの教員に使ってもらいつつ、その活用方法やアレンジ方法についての披露の場にもなり、アクティブ・ラーニングを円滑に進める道具としてロジコミを使ってもらうための場ともなり得るだろう。

Ⅵ. おわりに

本研究ノートでは、2年にわたるロジコミに関わる取り組みを振り返りつつ、ロジコミの価値を更に上げるために、どんな方策が考えられるかを検討してみた。

この間、学生モニター、講義でのアンケート等で、様々な有益なデータを得た。全体的な結果として、ロジコミは有効であり、様々な場面で活用できるということは明らかになった。ただし、時間不足と力量不足で、そのデータを丁寧に分析するには至らなかったもので、今後の課題としたい。

また、ロジコミの更なる価値向上に向けても、様々な方策が考えられる。そのいくつかを5章で示した。ロジコミは、学内外にオープンにして、より多くの人に使ってもらう段階に来ているといえるだろう。そのためにも、それをサポートする教員のためのトリセツの作成や、PBLシートも上手に活用していくことが求められる。そして、ロジコミサロンという場があることによって、それはより強化されるであろう。

ロジコミ開発に至った「(アクティブ・ラーニングは) 答えを簡単に出すことができない社会に必要とされる学び方であり、その学び方を身に付けるためのツールをつくる^{iv}」という願いに向けて、今後もロジコミの価値向上をめざしていきたい。

参考文献

- i 今堀 洋子, 2021「ロジコミ・メソッドの活用事例
～2020年度の講義での実践を通じて～」成熟社会研究所
紀要, 第5号, 21頁～25頁
- ii 池田 輝政・松本 浩司編, 2016「アクティブラーニン
グを創るまなびのコミュニティ」ナカニシヤ出版
- iii 今堀 洋子, 2021「ロジコミ・メソッドの活用事例
～2020年度の講義での実践を通じて～」成熟社会研究所
紀要, 第5号, 21頁～25頁
- iv 追手門学院大学 成熟社会研究所編, 2020「一人で思う,
二人で語る, みんなで考える」岩波ジュニア新書